

## 第三部 祝福の未来、哀れな現状、近づく裁き

### イザヤ 2 章～4 章

□アウトライン

- A) 導入のことば 2 : 1
- B) メシアの王国 2 : 2～4 . . . . . 祝福の未来
- C) エルサレムの哀れな現状と近づく裁き 2 : 5～4 : 1
- D) メシア 4 : 2～6 . . . . . 祝福の未来をもたらすお方はメシアである

- A) 導入のことば 2 : 1

アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて見たことば。

イザヤが見た「幻」(1 : 1) についての記述。見た時期は、ウジヤ王とヨタム王の治世下で、ユダ王国が外面的には富み栄えたが、内面的には腐敗し背教に走った時期。

- B) メシアの王国 2 : 2～4

終わりの日に、主の家の山は山々の頂に堅く立ち、もろもろの丘より高くそびえ立つ。そこにすべての国々が流れて来る。多くの民族が来て言う。

「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を私たちに教えてくださる。私たちはその道筋を進もう。」

それは、シオンからみおしえが、エルサレムから主のことばが出るからだ。

主は国々の間をさばき、多くの民族に判決を下す。

彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。

国は国に向かって剣を上げず、もう戦うことを学ばない。

- C) エルサレムの哀れな現状と近づく裁き 2 : 5～4 : 1

- 1. イスラエル民族への呼びかけ 2 : 5

ヤコブの家よ、さあ、私たちも主の光のうちを歩もう。

## 2. イスラエル民族の罪 2：6～8

まことに、あなたは、あなたの民、ヤコブの家を捨てられました。  
彼らはペリシテ人のように、東方からの者、ト者で満ち、異国人の子らであふれています。その地は銀や金で満ち、財宝は限りなく、その地は馬で満ち、戦車の数も限りありません。その地は偽りの神々で満ち、彼らは自分の手で造った物を、指で造った物を拝んでいます。

## 3. 裁きの宣告 2：9～11

こうして人間はかがめられ、人は低くされます。彼らを赦さないでください。  
岩の間に入り、土の中に身を隠せ。主の恐るべき御顔を、その威光の輝きを避けて。  
その日には、人間の高ぶりの目は低くされ、人々の思い上がりはかがめられ、  
主おひとりだけが高く上げられる。

## 4. 主の日（メシアの王国が立つ直前の大患難期7年） 2：12～21

まことに、万軍の主の日は、すべておごり高ぶる者、すべての誇る者の上であり、これを低くする。また、高くそびえるレバノンのすべての杉の木と、バシヤンのすべての檜の木、すべての高い山々と、すべてのそびえる峰々、すべてのそそり立つやぐらと、すべての堅固な城壁、タルシシュのすべての船、すべての美しい船の上にある。

その日には、人間の高ぶりはかがめられ、人々の思い上がりは低くされ、主おひとりだけが高く上げられる。

偽りの神々はことごとく消え失せる。

主が立ち上がり、地を脅かすとき、人々は主の恐るべき御顔を、その威光の輝きを避けて、岩の洞穴や土の穴に入る。

その日、人は、自分が拝むために造った銀の偽りの神々と金の偽りの神々を、もくろやこうもりに投げやる。

主が立ち上がり、地を脅かすとき、人々は、主の恐るべき御顔を、その威光の輝きを避けて、岩の割れ目や、巖の裂け目に入る。

## 5. 指導者たちに対する裁き 2:22~3:15

2:22~3:3 人間に頼るな、鼻で息をする者に。そんな者に、何の値打ちがあるか。まことに、見よ、万軍の主、主はエルサレムとユダから、支えと頼みになるものを除かれる。すべての頼みのパン、すべての頼みの水、勇士と戦士、さばき人と預言者、占い師と長老、五十人隊の長と身分の高い者、助言者と賢い細工人、巧みにまじないをかける者を。

．．．．(中略)．．．．

3:14~15 主は、ご自分の民の長老たちや君主たちと、さばきの座に入られる。

「あなたがたは、ぶどう畑を荒れすたらせた。貧しい者からかすめた物が自分たちの家にある。なぜ、あなたがたは、わが民を砕き、貧しい者の顔を白ですりつぶすのか。——万軍の神、主のことば。」

➤ 「ぶどう畑を荒れすたらせた」：ぶどう畑はイスラエル民族を指す（5章）

## 6. イスラエルの女性たちに対する裁き 3:16~4:1

主は言われた。「シオンの娘たちは高ぶり、首を伸ばし、色目を使って歩き、足に鈴を鳴らしながら小股で歩く。」

それで、主は シオンの娘たちの頭の頂をかさぶたでおおい、主は彼女たちの額をむき出しにされる。

その日、主はもろもろの飾りを除かれる。足飾り、髪の毛の飾り、三日月形の飾り物、耳輪、腕輪、ベール、頭飾り、くるぶしの鎖、飾り帯、香の入れ物、お守り札、指輪、鼻輪、礼服、外套、羽織物、金入れ、手鏡、亜麻布の衣服、ターバン、かぶり物を。

こうして、芳香は悪臭となり、帯は荒縄、結び上げた髪ははげた頭、豪華な衣装は粗布の腰巻き、その美しさは焼き印となる。

あなたの男たちは剣に、あなたの勇士たちは戦いに倒れる。シオンの門は悲しみ嘆き、さびれ果てて地の上に座す。

その日、七人の女が、一人の男にすがりついて言う。「私たちは自分のパンを食べ、自分の服を着ます。私たちがあなたの名で呼ばれるようにして、恥辱を取り去ってください。」

## D) メシアとシャカイナ・グローリー 4:2~6

## 1. メシア 4:2~4

## a. メシアとはどういうお方か 4:2

その日、**主の若枝**は麗しいものとなり、栄光となる。

地の果実はイスラエルの逃れの者にとって、誇りとなり、輝きとなる。

- 主の若枝・・・メシアの呼称。この呼称がどういう意味をもつのか、ここでは詳細は語られない。11章の預言でその意味内容が明らかとなる。ここは、メシアが「主の若枝」と呼ばれることの紹介。1章～5章は、イザヤ書全体の中では、序論のような位置付け。
- 地の果実：メシアの王国では、イスラエルの地の産物は豊かに成る。

## b. メシアに従う人々はどういう人々か 4:3~4

シオンに残された者、エルサレムに残った者は、聖なる者と呼ばれるようになる。みなエルサレムに生きる者として書き記されている。

主が、さばきの霊と焼き尽くす霊によって、シオンの娘たちの汚れを洗い落とし、エルサレムの血をその町の中から洗い流すとき、

## 2. シャカイナ・グローリー（神の栄光） 4:5~6

主は、シオンの山のすべての場所とその会合の上に、昼には雲を、夜には煙と燃え立つ火の輝きを創造される。それはすべての栄光の上に覆いとなり、その仮庵は昼に暑さを避ける陰となり、嵐と雨から逃れる避け所、また隠れ家となる。